

みなみあいづ

議会だより

平成22年8月17日発行

第17号



6月定例会

6月補正予算	生活環境改善工事支援事業の予算	2
議案審議	小中学生医療費無料化	4
一般質問	11議員が町政を問う	6
臨時議会	町長の給料を3割削減	17
議会報告会	3会場で開催	18
議会活動報告	南会津地方町村議会議員大会で提案	19

お星さまキラキラ (山口保育所)

ホームページ <http://town.minamiaizu.org/gikai/>

改善工事支援事業

補正予算可決

平成22年第2回定例会は、6月18日から25日までの8日間の会期で開催しました。町からは条例改正の議案2件、補正予算4件、専決処分3件、物品購入契約1件、人事案件2件、その他の議案や報告など3件、産業建設委員会からは意見書提出の議案1件が提出され、審議の結果すべて可決・同意しました。

事業の趣旨と今までの経過

生活環境改善工事支援事業は町内の中小零細企業の経営安定と雇用の確保、町民の生活環境への不安を一掃させるため、議会の議決を得て実施された町独自の公共事業です。

当初の事業規模は、国のきめ細かな臨時交付金8400万円を財源に、町内施工業者で個人住宅及び付属建物の改修工事を行なう町民に対し、24万円を支給限度額として補助するものでしたが、事業への反響が大きくなり、補助金の交付決定件数は1679件で、総額は予算を大きく上回る3億2552万円となりました。

今定例会では町から事業予算の不足額2億4152万円に対する補正予算が提案され、議会では財政への影響を判断しつつ、町民の視点で予算を審議し、全会一致で可決しました。

事業を2カ年で実施

事業予算の不足分は町の一般財源で対応するため、財政に大きな影響を及ぼします。

その対策として、財政への影響を最小限に抑え安定的な財政運営するために、平成22・23年度の2カ年で交付決定者すべての方の事業を実施します。

また、事業を2カ年で実施することにより、町内施工業者の継続的な事業と雇用の確保が見込まれます。

予算と財源

平成22年度

予算額 2億500万円

国からの
臨時交付金
8400万円

町の負担金
財政調整基金
1億2100万円

平成23年度

予算額 1億2052万円

町の負担金
一般会計予算
1億2052万円

用語

財政調整基金

財源不足の穴埋めや緊急に支出する場合に対応するための積立金

不安の連鎖を断ち切る

南会津町提案型公共事業

生活環境

経済不況

消費の抑制

収入減少

雇用の危機

交付決定の優先基準は

事業を複数年度で実施するため、3つの優先基準をもとに補助金の交付決定を順次行なっていきます。

交付決定の優先基準

- 介護保険住宅改修事業や高齢者にやさしい住まいづくり事業との合併施工
- 公共下水道の接続工事や合併浄化槽設置工事との合併施工
- 破損や腐食がひどく、早急に工事が必要と判断されたもの

予算質疑

交付決定者の振分けは

湯田秀春議員

生活環境改善工事支援事業を2カ年に分けて実施する計画ですが、交付決定者の振り分けはどのように決めますか。

また、本年度の交付決定が保留される方で、都合により早急に工事する必要がある方への対応は。

建設課長

振り分けの方法は、見積りを行なった施行業者の方と申請人の方で協議をしていただき、(社)福島県建築士会田島支部に取りまとめを依頼します。そのなかで状況を判断しながら対応します。

本年度交付決定が保留になった方で、早急に事業を行ないたい場合は、現場の状況等により判断します。

過疎債の適用は

星登志一議員

平成23年度から過疎法が改正され、ソフト事業も適用になりますが、債務負担行為額1億2345万円を過疎債に適用できませんか。

総務課長

過疎債のソフト事業は、地域医療、交通対策、集落の活性化・維持などを展開する事業に充当します。

生活環境改善工事支援事業は、趣旨が違うため適用になりません。

小中学生医療費無料化

10月1日から施行

子どもの保健の更なる向上と子育て支援を拡充するため、6歳以下の子どもを対象に実施している医療費無料化を15歳以下まで拡充する国民健康保険条例の一部を改正する条例が提案されました。議会で審議した結果、全会一致で可決しました。

医療費負担の増加はいくらか

湯田秀春議員

医療費無料化を拡充すれば、国民健康保険の負担が増加します。小中学生それぞれの医療費負担はいくらか。また、医療費無料化を拡充した場合、国庫補助金が減額されます。その内容は、

を現物給付した場合に限り適用されます。現在も0歳から6歳

までの医療費を現物給付しているため約90万円減額されており、今後、医療費無料化が拡充されることにより、約200万円の減額が予想されます。

住民生活課長

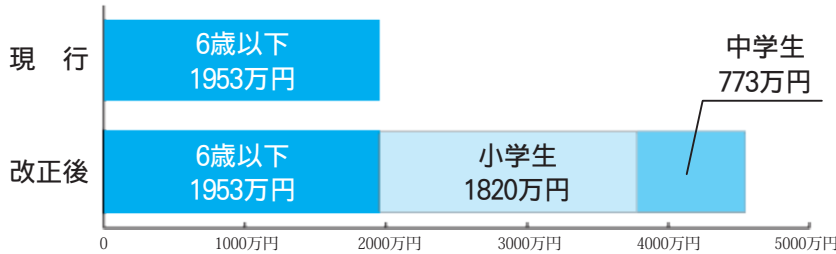
医療費の負担見込額は年間4546万円で詳細は下のグラフのとおりです。

国庫補助金（調整交付金）の減額は医療費

用語 現物給付

受給者に対して医療行為そのものを給付すること。

医療費負担の見込額（平成21年度実績による見込）



国民健康保険運営の状況

平成22年度国民健康保険は、昨今の社会情勢を踏まえ税率を据え置きし、不足額を国保基金から取り崩して運営しています。

基金保有額 A (7月1現在)

1億762万円

比較 (A/B)

条例で規定している適正な基金保有額 B

29.4%

3億6558万円

その他の議案質疑

ゲレンデ整備車の財源内訳は

湊田幹夫議員

ゲレンデ整備車購入に伴う契約額約3076万円の財源内訳は。

総務課長

合併に伴う県の補助金を財源としてゲレンデ整備車を更新します。契約額全額を県補助金で対応します。

防災行政無線の文字放送は

渡部優議員

防災行政無線の聴覚障がい者向け文字放送が瞬時に流れないとの苦情があります。放送の状況はどうなっていますか。

す。

そのため、夜間の放送は対応ができていない状況です。今後情報が早く伝わるよう検討します。

住民生活課長

文字放送は職員がパソコンで文字を入力し、聴覚障がい者用の個別受信機に配信しています。

議案の採決結果と議員表決

第2回定例会

議案名	採決結果	湯田哲	渡部俊夫	高野精一	馬場信作	山内政	渡部優	星光久	楠正次	湊田幹夫	渡部忠雄	湯田秀春	星登志一	星和男	平野昌盛	阿久津梅夫	渡部東	芳賀沼順一	菅家幸弘	大竹幸一	児山寿明	五十嵐司	
専決処分の報告について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部を改正する条例	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度繰越明許費繰越計算書の報告について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度水道事業会計予算繰越計算書の報告について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算(第3号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業農村整備事業の予算確保を求める意見書の提出について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第2回臨時会

議案名	採決結果	湯田哲	渡部俊夫	高野精一	馬場信作	山内政	渡部優	星光久	楠正次	湊田幹夫	渡部忠雄	湯田秀春	星登志一	星和男	平野昌盛	阿久津梅夫	渡部東	芳賀沼順一	菅家幸弘	大竹幸一	児山寿明	五十嵐司	
専決処分の報告について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南会津町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算(第2号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	同	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

採決結果の見方：可=可決 否=否決 同=同意
 表決の見方：○=賛成 ×=反対 欠=欠席 除=利害関係があり審議に入れない 棄=棄権 ※議長は採決に参加できません。



今後4年の地域振興政策は

町長＝農林業で町を元気に

問 特に力を入れる政策は。

町長 農業が基幹産業であり、地域特性を生かした重点振興作物の産地化を目指し、活力ある農業の推進に重点的施策を講じます。

問 商工業政策は。

町長 企業の倒産や撤退が相次ぎ地域消費の減少や後継者不足による中心市街地の空洞化が課題と考えます。今後は雇用対策を重点的に行ない、さらに観光で交流人口の増加と地場産業の振興に努めます。

問 少子高齢化対策は。

町長 延長保育や一時保育で子育て

てによるストレスの解消や、乳幼児・一人親家庭の医療費を助成し、高齢者が健康でいきいき暮らせる社会づくりに取り組みます。



南会津産ブランド「南郷トマト」

本町の事業を見直す考えは

町長＝見直すべきは見直す

医療従事者確保の考えは

町長＝町単独では困難

問 15歳までの医療費無料化によるコンビニ受診対策は。

ため小児救急電話相談などの周知をすることにもかかりつけ医制度を推進します。

町長 夜間はコンビニ受診が増える可能性も考えられるので、急な子どもの病気で判断に迷った時の

問 開業医の夜間診療体制づくりを検討しては。

町長 南会津町医師会では夜間本町にいない医師も多く、一人ひとりの医師の負担が多くなり、開業医の支援は無理とのこと。

問 周遊バスと市街地循環バスは。

町長 昨年7月から10月までの土・日・祝日に運行した周遊バスは実績を伴わず、市街地循環バスも推移を見て事業見直しを検討します。

町長 厳しい財政の中、国が対応すべきとの声もあり、地域への波及効果を見て方向性をさぐります。

問 やまなみ泊覧会は。

町長 当面実施すべきものは実施し、見直すものは見直します。

問 第3セクターは。

町長 厳しい経営が予測されるので、農林産品など、資源の掘り起こしと新たな収益事業をつくりあげていくとともに、統廃合を検討します。

問 あらかい健康キャンプ村は。



町政を問う 一般質問

町政運営に対する町長の考えは

町長＝町民との信頼が重要

問 4年間の町政を任された町長の方針は。

町長 誠実・公平・公正を第一に町民との信頼関係の中、かつ達な町政を行ないます。

問 事業の仕分けと新たに取り組む政策は。

町長 やまはく事業は個々の事業を検証し、地区の実情に合った支援事業に変えていきます。

今後の取り組みは地域通貨制度の導入検討や会津産米の地元販売促進事業を検討します。

また、待機者の多い介護施設への対応は民間の組織を支援して解消に努めます。小中学生の医療費無料化は今年10月から実施します。

問 町税等の滞納解消と医療費削減の対策は。

町長 滞納対策は毎月末の休日納税相談で納付環境の柔軟な対応と、求職活動をしている滞納者には仕事の情報を提供し、納税に向き合っています。関係者を大切にします。また、悪質な滞納者には預金・給与の差し押さえなど適切な滞納処

分をします。

医療費削減に即効性のある有効策は見られませんが、ジェネリック医薬品の利用促進や特定検診の充実で医療費の適正化に努めます。



販路拡大が望まれる会津産米

町長の農業振興策は

町長＝6次産業で雇用創出

問 農村の振興、発展に意欲的な町長の斬新な政策と、農業振興の具体的政策や補助金の改善は。

町長 本町の農業を支えてきた主要振興作物を重点的に支援します。産地生産力強化総合支援事業でパイプハウスや園芸施設を支援する事業に上乘せ補助率の検討や本町の単独補助事業の見直しを検討します。

問 農業の6次産業化に対する考えは。

町長 地域の雇用創出や経済の活性化に重要な振興策と

認識しています。農林事務所では農林業連携の6次産業を重点施策としており、本町も連携して資源の掘り起こしと活用を検討します。

問 集落維持と農村の活性化支援策は。

町長 今年度、地区と集落営農組織に対して集落機能維持と地域農業振興を目的とした、集落農業サポート事業交付金を創設したので、集落維持発展支援事業等を組み合わせ支援していきます。



生活環境改善工事の検証は

町長＝課題噴出の悩み多き事業

問 年金暮らしの人や高齢者を優先する指示は。

町長 各地域の申請件数に応じた割合及び工種件数に応じた割合で選定し、さらに高齢者に配慮した介護保険による改修や高齢者にやさしい住まいづくり助成事業の交付決定を受け合併施工を予定している工事等の交付を決定しました。

問 複数年かけて全世帯を対象に実施すべきと思うが、町民に対し公平な事業と考えますか。

町長 この事業はとても悩める事業と考えます。ほとんど無条件の中で実行するという状況の中、精一杯考え決定しました。地元雇用の拡大と地域の活性化、さらに町民

の住宅環境改善を目的とした事業で、できるだけ公平性を考慮しました。予想以上に申請

が多く実施には課題が多く噴出し反省しています。

テレビ会議システムの活用は

町長＝将来的課題

問 広大な本町は端から端まで移動するのに1時間以上かかり、車での移動は交通事故の危険もあり雪道は特に危険です。

は議会中継や職員向けの各種行事を放映するためのもので一方からの配信しかできないため、テレビ会議は不可能です。

町長 町は昨年議会中継システムを導入し、3支所と御蔵入交流館に同時放送しており、このシステムを使いテレビ会議が容易にできます。各総合支所長が移動することなく重要な会議に参加できるこのシステムの活用に対する町長の考えは。

町長 現在のテレビ中継システム



各地域に映像を配信する議会中継システム

地区ごとの事業カルテの作成は

町長＝整備状況の把握が可能になる

問 各地区からの要望が実施となる日を住民は何時かいつかと待ちわびています。カルテを作成すれば地区間の実施時期が明確になり、地区住民は希望がもて安心が得られます。

これは地区ごとの事業履歴書であり、担当職員が異動してもリセットされずに継続される重要な施策と思うが町長の考えは。

町長 町全体の整備状況の把握が可能になるというメリットはありますが、一方カルテが一人歩きすることで画一的事業が予算の硬直化を招く危険性もあり、地域協議会を含めた関係機関と調整しながら均衡ある事業を行ないます。



町政を問う 一般質問

景観保全のまちづくりは

町長＝良好な景観は共通の資産、適切に保全

問 景観のまちづくりを進めるための基本的な考え方は。

町長 景観のまちづくりは地元住民や事業者と一体的取り組みが必要で。地域の意向を十分踏まえ行政として必要な支援を検討します。

問 田島バイパス周辺の規制誘導策は、都市計画や景観づくり町民会議でどのように検討しましたか。

町長 景観づくり町民会議では景観法に基づく取り組みのほか、都市計画や屋外広告物、中心市街地活性化等の関連施設の一体的な検討が必要であり、具体的な規制誘導策の決定には至っていません。

問 バイパスから田島中心市街地への周遊はどのように検討しましたか。

町長 通過型から回遊型に転換し、バイパスから中心市街地に誘導する仕組みづくりの準備を進めています。

問 中心市街地活性化に対する基本的な考えは。



開発が着々と進む289号バイパス周辺

町長 会津田島駅周辺を整備や屋台格納庫建設、空き店舗活用事業や鳴山城址回遊ルートなどを進めています。また国道121号の街路空間の再生事業も県など関係機関との協議を進めています。

田代山帝釈山の保全活用は

町長＝貴重な自然遺産エコツーリズムを推進

問 田代山避難小屋の環境に配慮したトイレの処理方式と設置時期は。

町長 周辺の自然環境に配慮した非交流型のカートリッジ方式で環境省の直轄事業として要望しています。22年度に実施設計、23年度に設置工事を行い、24年シーズンの使用開始を見込んでいます。

問 山麓集落の活性化、連携の取り組みは。

町長 山の暮らし体験等の滞在型プログラム開発による

宿泊利用者の増加や地元産品の積極的な開発販売等による地域経済への波及効果が期待されます。

問 利用者への情報提供、体験プログラム、地域ガイド養成の検討は。

町長 学童用の環境パンフレットの作成、ホームページでの情報紹介等ソフト面の充実と現地案内施設の設置を進めています。本町独自のガイド認定も検討を進めていきます。



生活環境改善工事の補助金交付は

町長＝平成22・23年度に分けて実施

問 交付決定者以外の方にとどのような説明をされましたか。

町長 補助金交付決定保留通知書を送付し、交付申請額が予算額を超過しているため、当分の間交付決定を保留しますという説明文を記載しました。

問 その際交付決定の基準は示しましたか。

町長 交付決定の基準は示していません。

問 予算議決後及び23年度決定者への周知は。

町長 予算議決後交付決定通知書を送付。事業は22・23年度に分けて実施すると説明をしています。

公共事業縮減に伴う工事従事者の雇用対策は

町長＝建設業の新たな分野への事業展開を支援する

問 建設業に対する今後の展望と事業縮減に伴う従事者の雇用対策は。

町長 現在実施している道路改良事業及び排水・流雪溝整備事業の推進と、新たに耐震補強を含めた橋梁整備事業を実施していきます。

公共事業縮減に伴う施策としては、農業や林業など他の産業への参入を推進するなど、建設業の新たな分野への複合的的事业展開を支援して雇用確保に努めます。

問 教育旅行の国のモデル地区に指定を受け教育旅行の推進してきたが、20・21年度の受け入れ実績と、22年度の受け入れ予定は。

町長 20年度707名、21年度2330名。22年度受け入れ予定は首都圏を中心に小学校3校、中学校12校、高校4校の農家民泊の申し込みがあり延べ3776名です。

問 今後教育旅行の取り組みの方針と受入れ体制の方針は。

町長 農家との、本物の体験学習が都会の子どもたちに好評で、今後も継続的な需要が続くと思われます。受け入れ態勢の充実強化が必要で、受け入れ態勢の確保は南会津農村生活体験推進協議会を中心に、登録農家の拡充に努めリーダーの育成を行ない、レベルアップをしていきます。



自然の恵みに触れ合う子どもたち

教育旅行の推進は

町長＝受け入れ態勢の充実強化が必要

町政を問う
一般質問

湯花里苑の増床計画は

町長 介護保険計画に盛り込んで

問 老人保健施設「湯花里苑」は、リハビリなど機能改善施設ですが、現状は特別養護老人ホームの待機者が入所している状況です。

は、21年度から23年度までの第4次福島県介護保険事業支援計画に盛り込まれています。し全て町負担ではなく、介護報酬が増える事業所側と協議を考えています。

湯花里苑は10床の増床を要望していると聞いています。待機者の現状と増床計画は。

問 10床増の場合、町の負担額の算定は。また、増床計画を早めることはできませんか。

津町介護保険事業計画の保険料には組み入れていないため、計画の前倒しは厳しい状況です。

町長 特別養護老人ホームの待機者は、入所者59人のうち56人で割合は95%です。

町長 10床増による負担総額は2500万円の見込みですが、財政状況を考慮

です。

事業所から要望されている10床の増床計画



パワーリハビリ機器で機能回復に取り組む利用者

町道唐沢線にバス運行を

町長=4月から乗合タクシーを運行

問 湯ノ花地区と木賊地区を結ぶ唐沢線のトンネルが開通し、時間短縮など利便性向上に寄与していますが、スクールバスや生活バスの運行はできませんか。

した川衣から愛輝診療所の乗合タクシーを運行していますが、生活バスは館岩地域生活バス運行協議会で検討します。唐沢線を利用したスクールバスは児童・生徒数の動向、他路線と調整をしながら検討します。

町長 今年4月から唐沢線を利用

川衣交流センターの活用は

町長 自然環境学習施設として活用

問 田代山の登山口がある川衣地区に建設された川衣交流センターの活用計画は。

町も区と連携しながら、自然環境学習施設としての活用を推進します。本町独自の認定ガイドの設置や滞在型プログラムの検討し、地域活性化の拠点施設にします。

町長 指定管理者である川衣区の事業計画では、自然環境保護の普及、展示による環境学習、地域の伝統行事体験事業などが計画されています。

が計画されています。



交付手数料の値下げを

町長＝郡内町村で料金を統一

町長 住民票など窓
口交付手数料
は平成8年度に改定さ
れ、郡内町村の協議に
より料金を統一した経
緯があります。
行政サービスのうち、
手数料は交付事務経費
の対価として徴収する
もので、費用に対する
収入の割合が低く、税
等により大部分が賄わ
れているのが実情で、
交付手数料の引き下げ
は考えていません。

問 住民票などの交
付手数料は1通
350円ですが、会津
若松市など200円の
自治体があります。
なぜ料金が違うのか。
不況の中、負担軽減の
ため値下げはできませ
んか。



お年寄りの身近な交通手段「乗合タクシー」

問 丹藤地区から南
会津病院へ行く
交通路線がなく困って
います。
乗合タクシーの路線
を、丹藤地区を通って
南会津病院に行く道順
に変更できませんか。
また、市街地巡回バ
スは乗客が少なく見直
すべきでは。

町長 乗合タクシー
の経路の変更
は、地域の要望や事業
者の意見を聞き、運行
の可能性を検討します。
中心市街地巡回バス
は、昨年の反省を踏ま
え、利用促進と事業の
周知を進めています。が、
事業の見直しを考えま
す。

乗合タクシーの経路変更を

町長＝運行の可能性を検討します

温泉施設の割引サービスの成果は

町長＝入浴者が増加しスキーヤーに好評

問 スキー場の使用
済みリフト券に
よる温泉施設の割引サ
ービスの成果は。
各種割引サービスを
リフト券に明記し、夏
場の誘客に活用できま
せんか。

町長 会津高原4ス
キー場では、
1日リフト券購入者に
温泉入浴料や食事代の
割引制度を設けていま
すが、週末の温泉施設
では入浴者が増加し、
スキーヤーにも好評で
した。
来シーズンはスキー
ヤーに年間を通じて訪
れて頂けるように、共
通シーズン券購入者の
中から抽選で入浴券の
プレゼントなど新たな
企画を事業者に提案し
ます。

その他の質問

・町認可の介護施設
について



町政を問う 一般質問

町長 雇用対策は町の重要課題であると認識しています。県等関係機関と共に連携しながら既存企業や起業家の支援に努めるとともに、県や町の基金を活用し緊急雇用対策を継続して取り組みます。

具体的な失業者への雇用対策は、昨年9月町内5カ所に開設しました無料職業紹介所で求人情報の提供や就職

失業雇用対策は

町長 重要課題と認識

問 失業雇用対策を具体的にどのよう
に考えていますか。

の幹旋、就職訓練講習会等の情報提供を国県
の関係機関と連携し雇
用につなげていきます。

観光の町おこしは

町長 周遊型拠点づくりを進める

問 新町長は観光に
対してどのよう
な考えを持っています
か。

町長 地域発展の基
本は地場産業
の振興にあると考えま
す。農林業、観光業、
サービス業が総合的に
連携してこそ地域の活
性化となります。観光
の振興は町の重要な施
策です。

老人ホームの増設は

町長 平成23年度までの増設はない

問 5月現在、老人
ホーム入所希望
者は770名いるが、
今後どのように対処し
ますか。

町長 22年5月現在、
特別養護老人
ホーム入所待機者は、

施設全体（郡内）で7
14名。南会津町民の
入所待機者の実人数は
163名です。南会津
保健福祉圏域の特別養
護老人ホームのベツト
数は他の圏域より充足
率が高いことから21年
度から23年度までの福

島県介護保険事業支援
計画に、増床はありま
せん。町長が許可でき
るデイサービスを中心
に利用者の選択に対応
した訪問や泊まりを組
合わせて多機能なサー
ビスが受けられる地域
密着型サービスの導入

を検討します。

その他の質問
・生活環境改善工事に
ついて
・町100%出資会社
の見直しについて

具体的な取り組みは、
街中の賑わい創出と会
津田島駅から広がるま
ちづくりを推進するた
め駅前広場の整備や空
き店舗を活用した街中
元気づくり事業の実践
します。さらに祇園祭
の大屋台を年間を通じ
て紹介する屋台格納庫
の建設など、地域資源
を活用した周遊型の観
光拠点づくりを進めて
いきます。



多くの観光客が訪れる祇園祭



やまなみ泊覧会の検証は

町長＝事業報告を受け検証を実施



新緑の高原を駆け抜けた
ママチャリ7時間耐久レース

問 やまなみ泊覧会も1年が経過し、事業の検証を行なっていると思うが、検証の方針と結果は。

町長 やまなみ泊覧会事業は、それぞれの事業実施団体から事業報告書の提出を受け、現在検証を行なっていますが、事業目的が明確でなく課題があります。相対的に事業の検証を実施し、今後の行財政運営をします。

火葬場に身障者用トイレを

町長＝住民ニーズに応えられるよう検討

問 火葬場のトイレが狭く段差があり身障者や車椅子の人が困っている。改善の要望があるが衛生組合の副管理者である町長の考えは。

町長 東部聖苑、西部斎苑の両施設のトイレは、身障者の方々の利用に支障が

あることは認識してま

す。身障者用トイレは、出入口を含め一定のスペースの確保が必要であり、設置によって建物本体の安全性の問題から、既存部分の抜本的な改修は難しいと考えます。今後高齢化も益々進むことが想定され身障者のみならず、

高齢者の方々も含めた公共施設のバリアフリー化が急務です。対応可能な部分から改善が進められるよう下郷町、只見町と協議、調整し住民ニーズに応えるよう検討していきます。

みなみやま観光株の経営は

町長＝必要な時に必要な判断をします

問 本年4月に設立したみなみやま観光株は、町長が代わったことで役員人事や経営形態も変わるのではないかと心配する町民もいるが、新町長の方針は。

事及び経営形態に関し、現段階ではそれらの憶測に対してお答えする考えはありません。出資者として経営状況はもとより経営者も含め、会社全体の姿勢を見定めながら必要な時に必要な判断をしていきます。

町長 みなみやま観光株の役員人

その他の質問

- ・ 町営住宅について
- ・ 町営墓地の増設を



町政ビジョンは

町長 Ⅱ身の丈にあった行政運営をする

問 町政の基本取組みや施策の主要項目は、前町長が進めてきた取組みや施策とほとんど同じです。

町長が考えている町政ビジョンとは。

町長 合併特例終了時点の行財政運営のあり方を想定し、身の丈にあった行政運営とサービス低下をしないよう努力していきます。そのためには、

町政の地力が増強できる事業、子供や高齢者への配慮が大切であり、歴史・文化・自然を活用した町づくりをしていきます。

町事業の仕分けは

町長 Ⅱ諮問委員会を設置

問 町事業の仕分け内容は。

町長 現在実施している事業を行政改革という視点から判断していきます。7月～8月にかけて各課題ごとに検証し、改善点や課題を洗い出します。

その後、諮問委員会等を設置し、さらに検討して今後の行財政運営をしていきたいと考えています。

町長 現在実施している事業を行政改革という視点から判断していきます。7月～8月にかけて各課題ごとに検証し、改善点や課題を洗い出します。

第3セクター会社の経営改善は

町長 = 改革プランに基づいて進める



観光施設の運営など幅広い事業を展開する
みなみやま観光(株) (小豆温泉花木の宿)

問 第3セクター4社がみなみやま観光(株)として4月に統合し、その経営は今後3年間、改革プランに基づいて行ないますが。

町長 改革プランは第3セクターの経営改善をするための指針であり、その実現のためには経営評価

委員会による継続した経営評価、経営改善に対する見直しが必要不可欠と考えます。見直しはみなみやま観光(株)はもとより例外なく全ての第3セクターで改革プランに基づいた経営改善を進めます。

町長 改革プランは第3セクターの経営改善をするための指針であり、その実現のためには経営評価委員会による継続した経営評価、経営改善に対する見直しが必要不可欠と考えます。見直しはみなみやま観光(株)はもとより例外なく全ての第3セクターで改革プランに基づいた経営改善を進めます。



林業による職の創出

町長＝大人の学校で担い手育成



大人の学校で林業の基礎を学ぶ受講者

町長 昨年より大人の学校修了生10人が林業に従事しています。助成制度は今後の検討課題とし、当面、大人の学校による担い手育成事業を展開し雇用につなげます。

問 林業の研修生に月10万円を3年間、総額360万円の助成制度を提案します。100人認定すると3億6000万円の投資ですが、100人の方が10年間町で働けば交付税措置は1年間8000万円になります。交付税算定金額からすれば無理ではないと思いますが町長の考えは。

地産地消と食材の安定供給は

町長＝減圧乾燥機による実証実験中

問 千葉県流山市に「CAS」という、食品の細胞を壊さない新冷凍技術を持つ会社があります。学校給食の地産地消推進と安定供給に有効と思うが町長の考えは。

町長 「CAS」を活用した企業があり大変関心が寄せられています。学校給食への安定供給や農家所得の向上と農業就業者の増加も期待されます。町では減圧乾燥機による実証実験も試しており、更なる情報収集をします。

その他の質問
・福祉助成事業の本化

町長 今回の子ども医療費無料化にあたり、南会津郡医師会、南会津病院、小児科医、歯科医の方から意見を聞きましたが大きな影響はないとのことでした。勤務体制の実態は11名の医師で平日の夜勤・土日祝日の日勤・夜勤診療をしており、夜勤明け通常の診療に入ることもしばしばです。やむなく院長も日直に入る厳しい状況です。南会津病院の支援に対しては、

町長 南会津病院の医師の勤務体制の実態は、病院への支援体制の強化策は。

問 15歳以下の医療費無料化に伴い、コンビニ受診の心配はないか。

町長 南会津病院の医師の勤務体制の実態は、病院への支援体制の強化策は。

県立病院と県立高校への支援

町長＝郡全体の課題

郡全体の課題として国・県・町村会など関係機関と協議していきます。

問 南会津高校には合併前から年間300～500万円程度、田島高校は22年度より250万円程度の助成金が予算化されています。前町長は、他地域より本町高校に入学したいような環境づくりに力を入れていた。町長の支援構想は。

町長 教育の在り方は地域が一体となり支援することが重要な政策と認識しています。通学・部活・進路対策・地域との交流事業に対して支援していきます。

第2回 臨時会

平成22年5月21日

町長提案

町政に対する姿勢として給料を3割削減

全会一致で可決

	給料年額
現行	9,540,000円
改正後	6,678,000円
削減額	2,862,000円

大竹幸一議員
給料は3割削減するが、賞与は削減しない。年間でいくらか減額されるのか。

年間でいくらか減額されるのか

議案質疑

減額された金額の使いみちは

5月21日に平成22年第2回臨時会が開催されました。議会の冒頭に大宅宗吉町長が初登壇し、町政に対する所信を表明しました。その後、町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を含む議案を3件提案し、審議の結果、全会一致で可決しました。

渡部優議員
3割削減する金額はどの政策に当てるのか。

町長
削減する金額の使いみちは明確に決まっています。町政に対する姿勢の一端として提案しました。今後、各事業を検証し充当します。



公正で明るい選挙をめざして

選挙管理委員及び補充員を議会で選挙

委員及び補充員の任期満了に伴い、議会が地方自治法に基づき委員及び補充員の選挙を行ないました。その結果、次の方々が当選されました。

委員



羽染仁一さん
(委員長・白沢)



澤田洋一さん
(職務代理者・長野)

補充員

室井喜代一さん
(第1順位)

高山利一さん
(第2順位)

青木 泰さん
(第4順位)

菊地新六さん
(第3順位)

岩淵国男さん
(下山)



岩淵国男さん
(下山)



赤松信敏さん
(塩ノ原)

行政サービス制限の条例を
否決した理由は

藤生地区

日 時	3月30日(火) 午後7時から午後9時
会 場	藤生集会センター
参 加 者	区長ほか19名
出席議員	芳賀沼順一・楠正次・渡部忠雄・星光久・ 児山寿明・星登志一
質疑事項	①里山再生事業の状況は。 ②滞納者に対する行政サービス制限の条例を否決した理由は。
要望・意見	①堰の取入口の状況が悪い。町議会議員に現地を確認してほしい。



滝原地区

日 時	4月3日(土) 午後7時から午後9時
会 場	滝原林業研修センター
参 加 者	区長ほか11名
出席議員	星登志一・湯田哲・湯田秀春・平野昌盛・ 菅家幸弘
質疑事項	①町議会議員は町債を正確に把握しているのか。 ②簡易水道事業で地区から陳情されていない箇所が予算計上されている。その理由は。
要望・意見	①滝原地区で国土調査事業を実施してほしい。



田部原第一地区

日 時	4月26日(月) 午後6時30分から 午後9時30分
会 場	田部原コミュニティセンター
参 加 者	区長ほか18名
出席議員	渡部優・五十嵐司・渡部東・星和男・ 大竹幸一・馬場信作・渡部俊夫
質疑事項	①新年度の雇用対策は。 ②老人ホーム入所待機者の対策は。
要望・意見	①市町村対抗のスポーツ事業を実施してほしい。



南会津地方町村議会議員大会で提案

本町からの要望事項4件を議決

- ① 建設業の振興と雇用対策について
- ② へき地医療の充実と県立南会津病院の整備拡充について
- ③ 林業の活性化について
- ④ 国道352号(穴原～耻風間)の改良促進について

7月8日、只見町の「季の郷湯ら里」で、南会津地方町村議会議長会主催の議員大会が開催されました。この大会は、南会津郡内の4町村の議員が一堂に会して、南会津地方の諸問題を共同で解決していくことを目的として毎年開催され、今年は61回目となります。

本町議会からは、湯田秀春議員と楠正次議員が2件ずつ提案理由を説明し、要望事項は全て議決されました。議決された要望事項は、今後、国・県への要望活動が行なわれ、実現に向けた運動が展開されます。



湯田秀春 議員



楠正次 議員

視察研修を町政に生かせ

産業建設委員会視察研修

産業建設委員会では、6月29日から7月1日の日程で、秋田県藤里町と能代市、山形県鶴岡市を訪問し、畜産業や地産地消の取り組み、バイオマス発電の研修を受けてきました。

畜産業と地産地消

秋田県藤里町・山形県鶴岡市

秋田県藤里町は昭和62年から町営の牧場でめん羊を飼育しています。現在は価格や販売ルートの確立が困難で年間約300万円の赤字となっていますが、町の畜産部門振興のため事業を展開しています。

近年の取り組みとして、ホゲット(生後1〜2年)を利用した「ホゲット山桜燻し」料理を開発し、秋田県特産品開発コンクールで県知事賞を受賞しました。健康志向の高まりもあり、出荷数が伸びつつあります。

山形県鶴岡市にある丸山農場はホゲット肉

バイオマス発電

秋田県能代市

秋田県能代市にある能代バイオマス発電所は、間伐材や樹皮などを有効利用するため業界団体が設立したものです。施設で生産した電力や蒸気は組合員企業に供給し、余剰電力は外部へ販売しています。

また、ソニー(株)とカーボンオフセット契約をするなど先進的な取り組みがされています。バイオマス発電は今まで利用できなかった資源を活用できるとともに、二酸化炭素削減にも有効な発電と考えます。

議会傍聴におこしく下さい

9月定例会

9月10日（金）から予定

議会傍聴の手続きは簡単。

本庁3階傍聴席入り口で住所と名前を書くだけです。
傍聴席で議案も閲覧できます。

傍聴席から

6月議会では長野婦人会の皆さんが傍聴され、一般質問に耳を傾けました。傍聴中、終始メモをするなど真剣さが伝わってきました。

町民の声



長野婦人会
澤田けい子さん

議会を傍聴して

町政に関心を持つきっかけづくりを目標に長野婦人会活動の一環として6月定例会議を傍聴させていただきました。

自分の大切な1票を投じ町政を任せられた方がどのような活動をしているのか、広報で一端を知ることとはできませんがほとんどわかりません。

生の議会を傍聴して、難しい専門用語で分からない部分もありましたが、文字では伝わらない町執行部の考えや議員の思い、一生懸命さを肌で感じることができました。

たった一度の傍聴で分かるものではありません

が、少なくとも役場や議会に一步近づいたのではないかと思います。

町の政策が決められる大切な議会を傍聴したいと思っただけでも一人では勇気があることでしたが、できませんでした。今は議会実況中継が御蔵入交流館や各総合支所で見られ、多くの町民が議会に関心を持つことが期待できると思います。

自分の責任で1票を投じたからこそ厳しく見守っていく必要があると思います。

これからも町民の目線に立った町政運営のために、なお一層の御尽力をお願いいたします。

議会広報委員会

委員長	楠 正次
副委員長	渡部 俊夫
委員	湯田 哲
委員	馬場 信作
委員	山内 政
委員	湊田 幹夫

発行 南会津町議会

編集 議会広報委員会

〒967-8501 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531-1

TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-6102

E-mail:gikai@town.minamiaizu.lg.jp

